

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 2 日

事務事業名		真壁のひなまつり支援事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 040303000569	
		総合計画の施策名 0403 観光の振興				単独/補助		050301	
政策体系	政策名	04 活力ある産業のまちづくり				主要事業		所属課 商工観光課	
	施策名	03 観光の振興				市長マニフェスト			
	手段名	03 ③観光まちづくりの実践				未来PJ事業		グループ 商工観光グループ	
						合併建設計画事業			
予算科目		一般会計				事業期間			
会計		款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成15年度~)		
01	07	01	01	00	00	00	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠									

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市民主体による地域活性化イベント <概要> 平成15年2月におもてなしをテーマに市民が始めたひな祭り。2月4日から3月3日までの1ヵ月にわたり、真壁の町並み(市街地)にある店舗や家にお雛様が飾られる。 お雛様展示軒数:約160軒 観光客数:約8万人 主催:真壁のひなまつり実行委員会 商工観光課は実行委員会の事務局を担当 事業費は、実行委員会が管理する有料駐車場の利用料金や出店者による協賛金などの収入を当てており、市からの支出や補助金はない。	事務局業務全般 ・会議の開催と資料の作成 ・ポスター、チラシの作成並びに配布 ・ひなめぐりマップの作成 ・案内看板の作成及び設置 ・臨時バス運行についての調整 ・有料駐車場の管理運営 ・交通安全協会と市職員(有志)への立哨依頼 ・通帳管理(入金・支払) ・問合せ対応

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
会議資料の作成。臨時バス、交通規制打合せ。交通安全協会と市職員への立哨依頼。ポスター、チラシの作成。駐車場の管理運営。マップの作成。実績表の作成。通帳管理等	開催日数	日	28.00	28.00	28.00	29.00	28.00
	会議回数	回	7.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
市民、市外及び首都圏の人々	1都、6県の人口	千人	42,794.00	42,795.00	42,796.00	42,795.00	42,795.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
多くの人々にひなまつりを見に来てもらう。	来訪者数	人	80,000.00	80,000.00	85,000.00	90,000.00	95,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	8.00人	8.00人	8.00人	
	述べ業務時間	時間	1,601.00	1,800.00	1,800.00	
	人件費計(B)	千円	4,683	5,265	5,265	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,683	5,265	5,265	

29年度事業費実績(千円)

30年度事業費予算(千円)

事業費の内訳						
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容

31年度の事業内容

32年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	真壁のひなまつり支援事業	事務事業No.	40303000569	所属課	商工観光課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成14年12月、市民の「寒い中、真壁に来てくれた人をもてなそう」という一言から始まった。その思いに賛同する市民が自らお雛様を飾り、最大で200軒余にお雛様が飾られるようになる。県内外から約10万人の観光客が訪れ、茨城県を代表する春のまつりとして定着した。現在、お雛様展示件数は減少傾向にあり、また、商いを優先する露店もあり、真壁のひなまつりの雰囲気が変わりつつある。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民: 観光客を増やしたい人と減らしたい人がおり方向性が決まらない。商い優先が増え真壁のよさが失われつつある。 期間の延長を望む声もある。 観光客: 食の充実、休憩場所の増設、トイレの増設、駐車場の無料化等	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	支援する立場としては、市民主体のまちづくりを基本とし、市民自らがまちを元気にする過程を評価するため、観光客の減少は重視していない。観光客減少が原点復帰に結びつき、真壁のひなまつり本来の姿を見直すきっかけにもなった。実行委員会もこの方向性に理解を示している。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 目的である地域活性化(観光振興、商工業振興)に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 支援することにより市民のやる気を引き出し、市民主体のまちづくりに寄与している。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 観光客の増加により本来のおもてなしができなくなり、原点に立ち戻る必要がある。
効率性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民主体のまちづくり、観光客誘致に影響し、地域力が低下する恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 地域限定の事業である。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費の支出はないが、他課職員の協力等も含め大幅な人件費がかかっている。警備・誘導等を実行委員会にて委託することにより、人件費の削減は可能である。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民及び観光客が対象であり、公平・公正である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	近年、商い優先が多く見られるようになり、ひなまつりの雰囲気が悪くなってきた。また、お雛様も毎年同じ飾り方が多くマンネリ化の傾向が見られる。その影響もあり観光客は横ばいとなっている。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
ひなまつり実行委員会と協議し、昔からのひなまつりの雰囲気の維持と、マンネリ化を打破する方策を検討する。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果																			
		コスト削減優先度評価結果																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>